

vol.100

令和5年2月1日発行

Famille Bulletin

ファミリー ブルティン

“Bulletin”とは、会報、報告といった意味です。



文化の香るふれあいの街ファミリー

ファミリーハイツ明石自治会広報部 <http://www.famille.akashi.hyogo.jp/>

自治会創設から35年

ファミリーハイツ明石自治会

平成元年、壹番館185軒がファミリーの住人になった。当時は一部駐車場、駐輪場と池のある中庭があるだけで、組み立てが終わった貳番館の鉄骨がむき出しになっていた。コンクリートを運ぶ生コンミキサー車が連日出入りしていた。

自治会創立は、この年平成元年8月19日（と記憶している）。夏の暑い日、管理組合の第1回集会在開催されたその席上で、花園小学校に通う子どもをもつ3人のお母さんが発言された。子どもたちのために、ぜひ子ども会を作りたいと、熱心に明石市に働きかけたが、市からは、「子ども会は自治会の下部組織であり、自治会を創るのが先決」と言われたと。

その場で、全員賛成で自治会創設が決定された。会長に立候補した H 氏と。当時全階出席の15号室の11名が初代役員としてスタートした。

秋になって、恒例の西明石まつりが行われた。花園小学校校区各自治会はいずれも立派な神輿を持っていて、商店街をパレード。中々のものだった。また獅子舞も着てファミリー広場でも舞を見せてくれた。

昭和63年、平成元年、2年、世の中はバブルで商店街も大層な鼻息だった。西明石南町自治会や別所町自治会の会長から「ファミリーも祭りくらいやれや!!」と言われ大いに発奮したものだった。

貳番館の入居が完了し、住人も増えた平成2年には、有志手作りの神輿で参加した。のど自慢も行われ、M氏が1等賞を獲得。

平成3年参番館の入居により、現在の姿が出来上がったファミリー。当初より花園校区に於いて多岐にわたる活躍を続けてきたファミリーで生まれ育った子どもたちの、楽しい思い出づくりをと頑張ってきた35年間の自治会、子ども会の役員さんたち。その思いは確かに伝わっている。見違えるように立派に成長した庭内の樹々がファミリーの35年を物語っている。

そして今回100号となったファミリーブルティンは、その時々のファミリーの出来事を綴ってきた
そしてこれからも……。

2023年 宮入り



猿田彦の先導でお宮の神輿の帰還



和坂の太鼓の宮入



ファミリーハイツの宮入 石段登り



ファミリー太鼓の参陣



和坂の若衆の御手伝いも頂きつつ



2023年集合

これから、ファミールの御輿の歴史を書きたいと思います。自治会にとって自治会員の気持ちを繋ぎとめるのは、祭りが一番だと思います。

平成元年の頃は、西明石地区はお祭りが盛んで、各自治会が子ども会を中心に自前の御輿を出しておりました。特に南町自治会は御輿を盛大に担いでおりました。そんな中にファミールハイツ明石が出来て、「西明石祭り」に参加し、ファミールでも御輿を出そうという勢いが出てきました。ファミールハイツ明石自治会の御輿は、平成元年にファミールを造った飛鳥建設の寄贈で最初の御輿の土台が出来上がりました。それはベニヤ板をカットして作った簡素なものでした。それを何とかして見栄えの良いものにしようと、4名が立ち上がりました。若

かったから出来たことだと思います。平成3年には、おまつりくらぶも発足し法被も自前で揃えました。「西明石祭り」においてもファミールハイツ明石自治会の認知度は高まりました。その後、平成4年には新しいファミールの御輿の構想を練り、平成5年におまつりくらぶの有志たちが現在の大人御輿の屋根を、スチールネットの上に電話帳の紙を張って製作しました。構想は、図面化は、製作は、細かい化粧作業は、と分担して製作しました。今の御輿表面は塗装コーティングしていますが、その時に制作したものをそのまま利用しております。

初めて林神社の宮入に参加したのは平成5年の10月です。今から思うと、新参者を快く受け入れて頂いたと思います。名誉会長のご尽力と当時の林神社の総代に感謝しかありません。そして、平成5年から昨年の令和5年まで31年間もファミールの御輿を迎えて下さったことは、本当にありがたいことだと思っております。今まで宮入が出来なかったのは、平成7年の震災時と平成2年～平成4年のコロナの影響下のみでした。しかしながら、少しでも子ども達が喜ぶように令和3年には新しい子ども御輿を組立、子ども達に披露し写真撮影を行いました。令和4年には大人御輿が近隣自治会を巡行し、ファミール御輿の存在感をアピールすることが出来ました。南町商店街の人達には、御輿が来たことを大いに喜んでいただきました。そして何よりも子ども達の喜ぶ笑顔は何物にも代えがたいものでした。

また、令和元年5月には、「あかし伝統夢まつり」に参加しました。明石公園に布団太鼓34台と獅子舞9頭が集結しました。今後このような規模のイベントはなかなか出来ないと思われ、これにファミールも参加出来たことは、輝かしい歴史の1ページに残ったと思います。このファミールの祭りを今後もっと住民の皆様に判って頂き、ファミールの住民の繋がりを深める掛け橋にしたいと思っております。もっともっと若い人にも参加して頂き、ファミールを盛り上げようではありませんか。

御輿を持っているマンション自治会は日本全国においてもめずらしいと思われま。和気あいあい、活気あるファミールハイツ明石に住みたいと思っただけの様頑張ります。

4年前にファミール自治会アンケートをとりました。その結果においては、宮入は今後不要なイベントの筆頭でした。何故このような結果になってしまったのでしょうか。住民に対してイベントのアピール不足だったことを反省しています。参加した人は非常に楽しかったと大いに喜び、参加しない人は全く興味を示していないのです。ファミール内においてもっと宮入のイベントをアピールし、子ども達及び大人が参加しやすいものにする必要があり、ファミールで神輿を見てもらう時間をもっとつくる必要があるのではないかと考えております。ここまで続いたイベントです。住民の為のイベントとして愛されるよう今一度反省し、努力しなければなりません。

皆様もどうか食わず嫌いにならず、前向きな気持ちで林神社に足を運んで、ファミールの勢いのある平成の御輿と和坂の伝統ある布団太鼓の練りを見て、祭りの熱気を感じてください。祭りという伝統文化にふれてみて下さい。



平成3年10月
西明石まつり



宮入(年代不明)



平成8年10月
宮入



令和元年
あかし伝統夢
まつり

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 自治会三役会
4 子ども会 再生資源回収	5	6 フリーサロン	7 再生資源ゴミ	8 シニアクラブ (昼食会)	9	10
11	12	13	14	15	16	17
自治会役員会			不燃ゴミ			自治会三役会 粗大ゴミ
18	19	20 小型家電回収 天ぷら油回収 9:30~11:00 サンライフにて	21 再生資源ゴミ	22	23	24
25	26	27	28 高等学校卒業・終業式 不燃ゴミ	29 粗大ゴミ受付締切		

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 自治会三役会
3 子ども会 再生資源回収	4	5 フリーサロン	6 再生資源ゴミ	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
			不燃ゴミ	シニアクラブ (昼食会)	中学校卒業・修了式	自治会三役会 粗大ゴミ
17 自治会役員会	18	19 小型家電回収 天ぷら油回収 9:30~11:00 サンライフにて	20 再生資源ゴミ	21 小学校 特別支援学校卒業・修了式	22 幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校・特別支援学校 終了・終業式	23
24 子ども会再生資源回収	25	26	27	28	29	30
31 粗大ゴミ受付締切		ふれあいサロン	不燃ゴミ			

※ 粗大ゴミ受付締切は、毎月末日に変更になりました

※ 不要になった本誌は燃やせるゴミではなく子ども会の再生資源回収に雑誌として出してください

※ 「ゆずります」、「ゆずってください」申込受付は管理事務所でっております